

特集

第12回 研究・実践成果発表会

○発表会の目的

当事業団では、福祉情報の発信の場として、各施設が行う取組や研究の成果、今後取り組むべき課題などの発表を行う「研究・実践成果発表会」を開催しています。

また、各施設での取り組みや課題等に関する各種情報を共有することで、職員の専門性の向上を図るとともに、事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開へと結びつけることも大きな目的としています。

このように、対外的に情報を発信し、関係機関の方々に事業団の取り組みを知っていただくことで、福岡市の障がい福祉推進に事業団をご活用いただければと考えています。

○発表会の概要

第12回目となる今回は、当事業団職員や評議員、役員、行政や関係企業その他関係団体など、事業団内外から346名の参加者を迎え、令和元年11月7日（木）に福岡市市民福祉プラザにおいて開催しました。

第1部として、心身障がい福祉センターの宮崎センター長の講話、そして、第2部「研究・実践成果発表」として、事前に選考された4編の論文発表を行い、各論文の発表の後には、活発な質疑応答も行われ、有意義な発表会となりました。

○選考方法

提出された全10編の論文の中から、事前に実施した論文審査により、「優秀賞」として4編を選考しました（選ばれた4編を、第2部の発表論文としています）。

さらに、当日の発表審査も加え、4編の中から総合的に「最優秀賞」及び「外部審査員特別賞」を各1編選考し、表彰しました。

論文・受賞者一覧は、9ページをご覧ください。



第1部 講話

第1部は、「福岡市における障がい児療育の歴史・現在・近未来」というテーマのもと、心身障がい福祉センターの宮崎千明センター長が講話を行いました。

「わかりやすかった」「勉強になった」という声も多く、今後の療育について考える貴重な機会となりました。



第2部 研究・実践成果発表

第2部「研究・実践成果発表」の目的は、主に「福祉分野に関する各種情報の相互発信による専門性の向上」と「事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開に結びつける」ことです。発表された4編の論文のうち3編は、2ページ以降に詳細を掲載していますので、ご覧ください。